

春山長寿会（鹿児島市）

発表者：榎田成雄氏

皆さんこんにちは。私は、鹿児島市岡之原町「春山長寿会」会長の榎田です。

1 はじめに

岡之原町は鹿児島市の北部にあり、市役所から12kmの位置にあります。吉田町と皆与志町に境を接し、静かでよいところです。世帯数が200、福祉施設・グループホーム数が13、人口は678人で小学生は24人と少子高齢化が進んでいる地域でもあります。

春山長寿会は昭和42年に発足、来年で50年の節目を迎えます。メンバーは109人です。会のモットーは、お互いに楽しく励ましあい、常に心身健康を保ち、教養を高めながら、より明るく生活することに努めています。

私たち長寿会が取り組む事業としては

- (1) 社会組織や時代感覚を深めるための研修会
- (2) 健康保持や衛生に関する研修会
- (3) 健康長寿法の講演
- (4) 慰安、レクリエーションなどの行事
- (5) 社会奉仕活動

などがあります。

2 活動報告

それでは、活動の報告を行います。

まず、グラウンドゴルフ大会についてでございます。

場所は地域運動場で、参加者は46人でした。大会は今年で3回目を迎えました。子どもたちの夏休みを利用して開催し、高齢者23人、小学生14人、保護者9人の



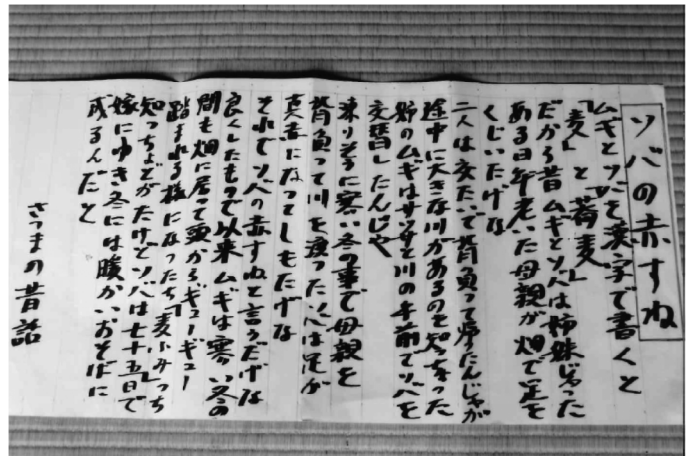


計46人で楽しみました。前日にグラウンドゴルフ同好会の会員が運動場の整備・清掃を済ませ、当日は初めて体験する子どもたちにクラブの握り方や打ち方を教えました。この日はとても暑く、水分補給をはじめ、けがや熱中症に注意しながら、同好会員の高齢者と子どもたちが一緒になって一生懸命のプレーが繰り広げられました。ホールインワンを達成した人には賞を贈り、参加賞も選手全員に進呈しました。子どもたちのプレーに高齢者も元気をもらいました。

次に、蕎麦作り体験についてでございます。

場所は地域公民館で、参加者は35人でした。報告の前にソバにまつわる昔話「ソバの赤すね」をご披露します。そばの茎がなぜ赤いのかを姉妹の話にたとえています。

「ムギとソバを漢字で書くと『麦』と『蕎麦』。だから昔、ムギとソバは姉妹と言われておった。ある寒い



冬の日、姉妹は足をくじいた老婆に出会った。ふたりは交代で老婆をおんぶしながら帰ったんじゃが、途中、大きな川があるのを知った姉のムギは、手前でさっさとソバに交代してしもうた。凍るように冷たい川を老婆を背負って渡ったために、すねは真っ赤になってしまった。ソバの赤すねとはよく言うたもんで、以来、ムギは寒い冬の間も畑において、頭をギュウギュウ踏まれるようになったち『麦踏み』っち知っつつちよが。だけどソバは暖かい時期に七十五日で育ち、冬は温かいお蕎麦になるんだと。老婆は、実は穀物の神様じゃったと言われておる」という昔話です。蕎麦は、植えてから75日で収穫でき、ほ

かの作物より早く育つのが特徴です。

蕎麦の準備（35人分）として、地元産新そば粉7kg、山芋5kg、道具として練り鉢、のべ棒、丸棒、ざる、テボざる、バケツ、まな板、包丁、ガス器具を用意しました。

この日は、水を使わずに蕎麦を作りました。蕎麦粉と山芋をガムのような



硬さになるまで練り上げて、いくつかに分けた後、板の上でまんべんなく前後左右にのばし広げます。折りたたんでまな板に移し、細く切り分けて熱湯に入れ、中で回り始めたらゆで上がりです。テボざるですくって冷水にさらすとコシのある麺になります。

始める前に、蕎麦うち経験のある高齢者に説明してもらい、子どもたちと手順通りに練ったり切ったり一生懸命取り組みました。

蕎麦はかつおだしの汁に合わせ、おにぎりと一緒に食べました。皆でテーブルを囲み、作る楽しさや苦勞、失敗したことを振り返りながらおいしく戴きました。楽しいひと時とお互いの交流を深めることができました。

初めての人も多かったようで、この体験を生かし、家庭でも挑戦してもらえたらと思っています。ちなみに蕎麦の日は10月8日です。家庭ではザル蕎麦も美味しいかと思います。

次に、孟宗竹を使ったそうめん流し体験についてでございます。

場所は春山ちびっこ広場で、参加者は70人でした。このちびっこ広場には、昭和49年に鹿児島市の指定樹に選定された樹齢220年のむくの木があります。



前日に有志7名で竹を切り出して節を落とし、カンナやペーパーで磨いて勾配ができるように組み立て、

そうめんがうまく流れるか試してみました。いろいろ工夫を施して長さ20メートルの長いそうめん台が完成しました。

そうめんの準備(70人分)として、そうめん140束、つゆ、竹容器、道具として竹、組み立て台、ざる、テボざる、バケツ、氷を用意し、子どもたちが経験したことのないかまどで火を焚きました。

この日は小学生24人、高齢者22人、保護者14人など合計70人が参加しました。記念写真や説明をした後、かまどでそうめんをゆで上げて、小分けにしながら竹に流しました。最初はたくさん入れると竹からあふれ、少ないと子どもたちまで行き渡らず苦勞しました。だんだんうまく調整できるようになり、参加者もそうめんを素早くすくって競うように食べる光景が見られ、満足そうな様子でした。この体験が、子どもたちにとって夏休みの思い出として残ればと願うところでした。食べた後は、全員で後片付けと清掃を行いました。



3 おわりに

以上、春山長寿会の活動報告をさせていただきました。

このほか、年間計画に基づき、クラウドゴルフでは同好会員が週2回ルールとマナーを守り練習し、各種大会に参加しています。ペタンクでは市老連北部大会へ60人程参加したほか、10月10日の鹿児島市いきいきカップ大会などへも参加しました。このスポーツは、フランスが発祥の地でパラリンピックのボッチャによく似た競技で、丸い輪の中からピュットという丸い玉を投げて鉄のボールを近づけると得点になる楽しいスポーツです。



また、市の公園課から季節の花の苗をもらい、年2回の花植や管理を楽しんでいます。恒例の慰安研修旅行では人吉方面で温泉に入り、美味しい食事を戴き楽しいひとときでした。地域の六月灯では灯籠作りや舞台作りをして、当日は太鼓で始まり、踊りやカラオケ、マジック、最後に抽選会もあり、毎年盛り上がっています。敬老会では毎年招待をいただき、役員や婦人の方々の心づくしに感謝しています。



さらに、校区小学校の田植え・稲刈りでは長寿会の会員が毎年手伝いをし、昔の伝承遊びでは10月18日の学校のバザーの日に併せて、こま廻しや竹とんぼ、竹馬、かざ車、紙飛行機、数珠玉などを伝えています。

そして、その他各種研修会にも積極的に参加しています。

最後になりましたが、これからも会員はじめ、各種団体、あいご会などの協力を得ながら、持続性のある長寿会にしていきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。